

内外交差点

日常にワンエッセンスの刺激

X Taxiとは何者か?⑥

円田 真氏 (X Taxi 理事) 6人目/12人



業界情報誌だったかSNSだったか——何がきっかけでX Taxiの発足を知ったのか記憶が定かではありませんが、それを知った2020年に入会届を出した記憶があります。

2011年に先代の不幸があり当時28歳でブルーキャブグループの代表取締役役に就任しました。市場が衰退し、会社も疲弊していく中でそれでも「タクシーを面白く」を自身の信条とし、ブランドデザイン構築やEV導入など自社で出来ることはできるだけやってきたつもりでしたが、コロナ禍に入り、いよいよ自助努力で打開できない波が来たなと思った矢先でした。

X Taxi最初の総会が始まる5分前、近藤(洋祐)代表から突然の着信がありました。WEBでの参加予定でもうそろそろオンラインの準備をしようかとしていたところだったので、怪訝な気持ちで電話に出たところ「円田さん! O△委員会の委員長をお願いします!」とのお知らせで、検討する間もなく任命されたところから私のX Taxiでの活動が始まりました。

さて、X Taxiとは何者か?とタイトルで掲げられておりますので先の5名からも語られておりますが、私目線からもお話させていただきたいと思っております。



まず私にとってのX Taxiの価値はなんと言っても全国各地で活躍されて

いる方々とリアルにお会いし交流を持てる素晴らしい場だと捉えています。

毎月のように開催される例会やセミナー、その間を縫って行われる理事会、隔週でのオンラインMTGに加え委員会単位でのMTGと、今に至るまで私の知る

任意団体の中でもかなり密度の高い活動を行なってきました。各地から集まった素晴らしい方々と、活動を通じて情報交換を始めアイデアや事例の共有を全国規模で、しかも高い頻度でリアルタイムに肌で直接刺激を得られる貴重な場所になっています。そこで得られた情報や人脈で、自社での取り組みにも活用できたり経営判断にも活かされております。

良い意味での曲者たちが、一見苦しい景色しか見えない未来の中に一縷の光を見つけ出しそこに向かって邁進しています。現状への不安は誰しも感じるところかもしれませんが、ここに集まる人達は皆前向きに力強く進んでいます。そのような力で、X Taxiという団体を通して業界をより良く発展させることができるような活動を更に展開していけたらと思っております。

X Taxiは、この業界において日常にもうワンエッセンス刺激を加えたいと思われる方にとってこの上ない場所なのではないかと確信しております。これからも共に刺激し合い、互いの成長や成功を喜び合える仲間が増えていくことを期待しまして私からのX Taxiのご紹介とさせていただきます。



一般社団法人 X Taxi

問い合わせ先: info@xtaxi.jp

H P: <https://www.xtaxi.jp/>